

平成29年度後期 学群教育改善計画

学群(学部)名	看護学群
学群(学部)長名	原 玲子

<p>1ー(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。 ※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。</p>					
①	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>技術習得を主とする科目等は、事前学修、事後学修を行わないと授業に臨めないことから、ラボの開放延長希望があるほど、事前・事後学修が十分行われている。しかし、知識を習得する科目等では、事前・事後学修時間が不足している傾向が強く、事前・事後学修を促すための効果的な方法の検討が必要である</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>授業内容を理解し、知識を習得していく過程で、事前・事後学修は重要な位置づけと考える。</td> </tr> </table>	課題	技術習得を主とする科目等は、事前学修、事後学修を行わないと授業に臨めないことから、ラボの開放延長希望があるほど、事前・事後学修が十分行われている。しかし、知識を習得する科目等では、事前・事後学修時間が不足している傾向が強く、事前・事後学修を促すための効果的な方法の検討が必要である	理由	授業内容を理解し、知識を習得していく過程で、事前・事後学修は重要な位置づけと考える。
課題	技術習得を主とする科目等は、事前学修、事後学修を行わないと授業に臨めないことから、ラボの開放延長希望があるほど、事前・事後学修が十分行われている。しかし、知識を習得する科目等では、事前・事後学修時間が不足している傾向が強く、事前・事後学修を促すための効果的な方法の検討が必要である				
理由	授業内容を理解し、知識を習得していく過程で、事前・事後学修は重要な位置づけと考える。				
②	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、評価を示している科目は見あたらなかった。また、オムニバス科目で、領域間の得点差が大きい学生もいる等、評価方法の検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>1つの科目として、事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、学生への評価の示し方や評価の方法は、学生が授業内容を理解の深める上で重要と考える。</td> </tr> </table>	課題	事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、評価を示している科目は見あたらなかった。また、オムニバス科目で、領域間の得点差が大きい学生もいる等、評価方法の検討が必要である。	理由	1つの科目として、事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、学生への評価の示し方や評価の方法は、学生が授業内容を理解の深める上で重要と考える。
課題	事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、評価を示している科目は見あたらなかった。また、オムニバス科目で、領域間の得点差が大きい学生もいる等、評価方法の検討が必要である。				
理由	1つの科目として、事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、学生への評価の示し方や評価の方法は、学生が授業内容を理解の深める上で重要と考える。				
③	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>スクリーンが小さい、映像が鮮明に映らない、わかりやすい資料の作成等が、継続した課題となっているが、新カリの学生から、PC必携となっていることから、それに伴う効果的な授業方法の検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>1科目が電子書籍を導入している。電子書籍の導入や写真の鮮明な映像の提供など、学生の理解を促すわかりやすい資料の作成等の検討においては、新カリの学生より、PC必携であることを視点に置くことが必要と考える。</td> </tr> </table>	課題	スクリーンが小さい、映像が鮮明に映らない、わかりやすい資料の作成等が、継続した課題となっているが、新カリの学生から、PC必携となっていることから、それに伴う効果的な授業方法の検討が必要である。	理由	1科目が電子書籍を導入している。電子書籍の導入や写真の鮮明な映像の提供など、学生の理解を促すわかりやすい資料の作成等の検討においては、新カリの学生より、PC必携であることを視点に置くことが必要と考える。
課題	スクリーンが小さい、映像が鮮明に映らない、わかりやすい資料の作成等が、継続した課題となっているが、新カリの学生から、PC必携となっていることから、それに伴う効果的な授業方法の検討が必要である。				
理由	1科目が電子書籍を導入している。電子書籍の導入や写真の鮮明な映像の提供など、学生の理解を促すわかりやすい資料の作成等の検討においては、新カリの学生より、PC必携であることを視点に置くことが必要と考える。				
<p>1ー(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。</p>					
①	<ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後学修については、以前より課題であったが、今回は「小テスト」「レポート」「課題の提示」等の工夫がされていた。各科目において、事前・事後学修をどのように行っているのか、その方法をどのように評価しているのか等の情報を共有し、FD等を通して、効果的な方策を検討する。 				
②	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より課題となっている学習の到達状況を評価するための基準や方法については、一部の導入を行ったが、各科目に反映できるように、FD等を通して、ルーブリック評価の規準作成に取り組む。 				
③	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすい講義資料の作成」や「スクリーンが小さい」「スクリーン画像が鮮明に映らない」等の従来の課題である、commonsの整備により解消される側面もあると思われるが、新カリの学生は、PC必携であることを念頭に、PCを活用することで、より効果的授業方法、効果的な資料作成についてFD等を通して検討する。 				

<p>2ー(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに、「小テスト」を行い、そのことが、事後学修の動機付けになり、事前学修にも反映されていた。 ・ポートフォリオの導入により、意識して学修する学生がこれまでより増加していた。 ・事例をグループで考察するアクティブラーニングの導入により、学生が能動的に考え、質問も多くなる等、双方向性の授業の展開となり効果的であった。 	
<p>2ー(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員会議で紹介し、情報を共有する。 ・看護学群のFDを通して、事前・事後学修時間の確保を促進する方法について、各科目単位、科目の連動における方策等、講義科目における効果的なアクティブラーニングを検討する。 	